

ネイチャー・ウォーク

令和元年 10 月号

2019. 10. 27 発行

(通巻第 310 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■9月のネイチャー・ウォーク

朝から歩く皆さん若うし

(JR 北朝霞駅／東武東上線 朝霞台駅～東武東上線 和光市駅)

埼玉県というと、「嵐を呼ぶ園児」ことクレヨンしんちゃんが有名ですが、今回のネイチャー・ウォークは、「嵐を寄せ付けぬ参加者」に恵まれ、事前の段階では台風接近で大雨の懸念もあった中、気温も適度で、絶好の歩き日和の天候となりました。

今回の参加者は 21 名。平成の名水百選である妙音沢にて記念撮影です。





駅から少し移動して出発前の挨拶

今回のネイチャーウォークは JR 北朝霞駅／東武東上線朝霞台駅から黒目川沿いを歩き、平成の名水百選の妙音沢ののち、和光樹林公園を經由して和光市駅まで至る約 10km。ちょっと長めのコースです。

集合場所は異なる名前の 2 つの駅ですが、ほとんど同じ場所にあります。



黒目川に到着です

黒目川に到着。黒目川は荒川水系の新河岸川の支流。「黒目(くろめ)」という名前ですが、その名前の由来は、湧水が多くて、水が「汲める」からともいわれており、きれいな水が流れています。

アユが生息しているとのことで、ところどころで、釣り人の姿も見られました。

黒目川沿いを歩き始めると、モズが激しい鳴き声をさせながら、追いかけてくをしているところに遭遇。小さくてかわいらしいけれども、気性の強いところにびっくりです。

この他、黒目川沿いでは、ところどころで黄色い脚が目印のコサギに遭遇。

少し流れが流れの速い場所だからなのか、おっかなびっくり慎重に歩く姿や、電線に止まる姿など、さまざまに特徴的な動きをするコサギを見ることができました。



いろいろなコサギの姿を見ることができました



黒目川沿いを歩きます。川のアレチウリの大群落にびっくりです。



きれいな花でも要注意

また、道沿いのいくつかの切り株の周りには、紫色のきれいな花が咲いていて、いったい何だろうと注目を集めました。正体はムラサキカタバミ。

要注意外来生物の一つで、非常に駆除するのが難しいとのこと。このほか、アレチウリの大群落などもあり、外来種の勢いに驚きの声がありました

一方、多くの花が咲いていることもあり、オレンジ色のヒメアカタテハなど、様々な蝶の姿も見られました。

きれいな水とさわやかな空気の妙音沢を満喫後、和光樹林公園へ。

その道中は、実は東京都と埼玉県の都県境になっています。



ヒメアカタテハがきれいでした



妙音沢はさわやかな場所でした



赤丸の中には「都立公園」の文字

道をまっすぐ歩くだけで、わずか300m 足らずの間に、埼玉県新座市、東京都練馬区、そして埼玉県和光市と都と県の境を 2 回越えるこという貴重な体験をすることができました。

樹林公園でお昼休みの後は、恒例の表彰式。今回は1人の方に「Walk（多く）出現認定証」が贈られました。

おめでとうございます！



暑い暑い夏が終わり、令和元年度も折り返し。楽しい楽しいウォークの秋がやってきます。これからも楽しく、元気に歩いていきましょう！